

修士論文（要旨）

2010年1月

韓国人 JSL 児童生徒を取り巻く学習環境と読書力  
ーダブル・リライト教材使用の試みー

指導 佐々木 倫子 教授

国際学研究科

言語教育専攻

208J4016

平田 昌子

第1章 はじめに	1
第2章 研究背景	
2.1 JSL (Japanese as a Second Language) の子どもたちを取り巻く現状	5
2.2 背景調査 - 調査地 A 市の現状 -	6
第3章 調査協力者を取り巻く環境	
3.1 調査協力者	14
3.2 調査方法	14
3.3 調査結果および分析	16
3.3.1 学習環境	16
3.3.2 言語観	27
3.3.3 二カ国間を移動した際の心理状況	30
第4章 読書力	
4.1 調査方法	32
4.2 調査結果および分析	
4.2.1 本に対する知識および読書習慣・姿勢	34
4.2.2 読む力	40
第5章 漢字能力	
5.1 調査方法	50
5.2 調査結果	51
第6章 考察	
6.1 読むことができない要因	61
6.2 日本語教師・日本語支援者が出来ること	62
6.3 母語を取り入れたダブル・リライト教材の使用	64
6.3.1 なぜダブル・リライト教材なのか	64
6.3.2 ダブル・リライト教材の作成方法	66
6.3.3 調査協力者からの声	66
6.3.4 ダブル・リライト教材の成果	70
6.3.5 課題・問題点	71
おわりに	73
謝辞	
参考文献	

## 第1章 はじめに

JSL<sup>1</sup>の子どもたちは、成人の日本語学習者とは異なり、発達の途上であり、学ばなければならないことが山のようにある。日常会話ができて、学習言語能力が十分に備わっておらず、日本語への依存度が高い教科では、「お客様状態」に陥ってしまう子どもは少なくない。発達途上の子どもにとって、学習の断絶は決して起きてはならないことである。

では、どのような能力を身につけなければならないのであろうか。西原（1996:71）は、「子どもの認知的能力の発達は、理解力、とくに読解力と深く関係している。」と述べ、子どもの発達における読解力の必要性を主張している。

本研究では、韓国人児童生徒の学習環境・言語観・読書習慣・読書姿勢について調査・分析を行い、これらが、彼らの学習言語能力、特に「読む力」にどのような影響を与えるのかを明らかにすると共に、日本語支援者が彼らのために何ができるのかを提示する。さらに、母語と日本語を用いたダブル・リライト教材<sup>2</sup>を使用した活動を採用し、効果的だと思われる支援方法を提案することを目的とする。

## 第2章 背景調査

JSL を取り巻く現状、特に、調査協力者が在住する H 市の取り組みを調査するとともに、彼らが通っていた日本語支援教室の教員 2 名へインタビューを実施し、H 市が抱える問題を明らかにする。

## 第3章 調査協力者を取り巻く環境

浜田ほか(2006)の同心円図を参考に、韓国・日本における人的ネットワークの変化、さらに、一日のサイクルを書き出し、両国での生活習慣の変化を明らかにする。また、言語観・二カ国間を移動した際の心理状態について、インタビューを実施する。

## 第4章 読書力

本稿では、内容の読み取りから産出までの力を「読む力」とする。さらに、本研究における「読書力」とは、上記で述べた「読む力」に加え、本に対する知識・読書習慣・読書姿勢をも含めたものとする。

本章では、「読書習慣」「読書姿勢」「読む力」について調査を行う。「読む力」については、Developmental Reading Assessment, Grades 4-8 (Beaver, J.M. 2006) での評価項目を参考に、推測・再生・内容理解度・スキヤホールディングの観点から「読む力」を測定する。

---

<sup>1</sup> 「Japanese as a Second Language (JSL) の子ども」とは、「日本語を第二言語として学ぶ子ども」を意味する。(川上 2006:15)

<sup>2</sup> ダブル・リライト教材とは、母語で話の大枠（誰が、何を、どうした）を書いた母語リライト教材と、光元他（2006b）を援用し、彼らのレベルに応じて難しいと思われる表現を易しい表現に書き換えた日本語リライト教材の2つを用いるものである。活動前に、母語リライト教材を読み、その後、稿者とともに日本語リライト教材を読み、質疑応答や話し合いをする活動をする。

## 第5章 漢字能力

月に1回「漢字産出トレーニング」を実施し、どのような漢字を日々習得し、どのように分類しているのかを調査する。

## 第6章 考察

JSL の子どもたちに読書活動の空白の時間が生じてしまう要因として、「母語で書かれた書籍の不足」「適切な日本語の書籍不足」「読書活動を通したやり取りの欠如」の3点が明らかになった。さらに、その要因を取り除くため、日本語支援者ができることとして、「子どもと本との距離を縮めること」、「読みたい本＝読める本を提供すること」、「本を通したやり取りを増やし、良いサイクルを作ること」を挙げ、その具体的な支援方法として、ダブル・リライト教材の使用を提案した。

### おわりに

読書活動の空白の時間を埋めるため、KFD・KMJには1年1ヶ月、KFYには7ヶ月の間、読む活動を中心とした日本語支援を実施し、試行錯誤の末、ダブル・リライト教材を使用した活動に辿りついた。日々、彼らの日本語は目覚しく成長していったが、学年相応の本を自力で読むこと、また、国語科の授業にも参加できるようになったことに、ダブル・リライト教材が果たした役割は大きかったと言えよう。

しかし、ダブル・リライト教材を作成するに当たり、母語と日本語の2種類のリライト教材を作成しなければならず、さらに彼らの母語に翻訳してくれる協力者をも探さなければならないという問題点を抱えている。この問題点を解決するには、支援者同士のネットワークの構築が必要不可欠である。今後、支援者および支援団体がネットワークを構築し、教材を共有しながら、試行錯誤を重ね、教材の質を高めていくことが、よりよい日本語支援に繋がると考える。

## 参考文献

- 岡崎敏雄(1995)「年少者言語教育研究の再構成—年少者日本語教育の視点から—」『日本語教育』86号 pp.1-12
- 岡本夏木(1985)『ことばと発達』岩波書店
- 海保博之(1984)『漢字を科学する』有斐閣選書
- 川上郁雄(2006)『「移動する子どもたち」と日本語教育』明石書籍
- 清田淳子(2001)「教科としての「国語」と日本語教育を統合した内容重視のアプローチの試み」『日本語教育』111号 pp.76-85
- 清田淳子(2007)『母語を活用した内容重視の強化学習支援方法の構築に向けて』シリーズ言語学と言語教育8 ひつじ書房
- 小林美希(2008)「JSL生徒に対する「内容」と「ことば」を統合した日本語読解支援の可能性」『早稲田大学日本語教育学』3号 pp.39-52
- 平井清子(2003)「言語喪失—バイリンガル教育の中で現象と展望—」『北里大学一般教育紀要』8 pp.31-51 北里大学
- 中島和子(2003)「継承日本語学習者の漢字習得と国語教科書」『桜美林シナジー』第1号桜美林大学大学院 国際学研究科 pp.1-21
- 西原鈴子(1996)「外国人児童生徒のための日本語教育のあり方」『日本語学2月号』pp.67-74
- 日本語教育学会 編(2005)『日本語教育事典 新版』大修館書店
- 浜田麻里・林さと子・福永由佳・文野峯子・宮崎妙子(2006)「日本語学習者と学習環境の相互作用をめぐって」『日本語教育の新たな文脈—学習環境、接触場面、コミュニケーションの多様性』アルク pp.67-102
- 光元聰江・藤原康弘(2003)「初期日本語教育におけるリライト教材による教科学習の可能性—外国人児童への学習支援に関する縦断的実践報告」『岡山大学教育学部研究集録』123号 pp.147-154
- 光元聰江・岡本淑明・湯川順子(2006a)「外国人児童のためのリライト教材・音読譜による国語科の指導」『岡山大学教育学部研究集録,』131(1). pp.113-122.
- 光元聰江・岡本淑明(2006b)『外国人児童・生徒を教えるためのリライト教材』ふくろう出版
- 藪本容子(2006)「定住児童の対話と共同学習による読む力の育成」『移動する子どもたちと日本語教育』pp.54-74
- Beaver, J.M. 2006. Developmental Reading Assessment, Grades 4-8, Second Edition. Celebration Press, Inc.
- Cummins, J. 1984. Bilingualism and special education: Issues in assessment and pedagogy. Clevedon, England: Multilingual Matters.
- Custodio, B. and Sutton, J. 1998. Literature-Based ESL for Secondary School Students, TESOL Journal, Vol.7, No.5, 19-23.
- Taffy E. Raphael. 1986. Teaching question-answer relationships revised. The Reading Teacher39, 516-523.